

ありがとうの募金(一元玉募金) 北名古屋市立白木小学校 6年 山本 文博

ぼくたち児童会は、一元玉募金を毎月行っています。困っている人のために「役立ててほしい」という思いで活動を続けています。また、困っている人が世界中にいることをみんなにもっと「知ってほしい」という思いでも行っています。そのため、募金をしてくれる人に、感謝の気持ちを込めて「ありがとうございます」と伝えていきます。お互いに笑顔になれる、とてもよい活動です。これからも「ありがとう」を増やして、学校中、世界中が笑顔になったら幸せだと思います。



〈ありがとうございます！〉

縦割り遊びで思いやり 常滑市立西浦北小学校 6年 多田 翔

西浦北小学校では、一ヶ月に一回、大放課の間に「縦割り遊び」を行っています。僕たち6年生がリーダーとなって、縦割り班で、おにごっこやドッジボールをして遊びます。ぼくはこの活動を通して、年下の子へ親切にすることの大切さに気づきました。それから、みんなが納得できる遊びを提案するためには、思いやりの心も必要だと気づきました。これからも、思いやりを大切にしていって、人と関わっていきたいです。



〈縦割り遊び ドッジボール〉

人との関わりを大切に 豊橋市立豊岡中学校 3年 小永吉 香織

休日に奉仕活動を行うホリデーボランティアに参加し、百人を超える生徒が十か所の公園に分かれて、地域の公園清掃をしました。お互いに声をかけあったり、話をしたりすることで、普段関わりの少ない人とも楽しく交流することができました。日頃お世話になっている地域への恩返しとして、学年関係なくみんなで一丸となって活動することの楽しさや大切さを実感しました。これからも、地域への感謝を忘れず、人との関わりも大切にしていきたいです。



〈ホリデーボランティア〉

自分たちにできること 岡崎市立南中学校 3年 大野 由祐

南中学校のSEP(Save the Earth & People)委員会では、平成2年度から美化・奉仕活動として学区清掃や資源回収を行い、その収益金を聾学校や福祉団体へ活動資金として寄贈するなどの活動に取り組んできました。今年度は、戦争の長期化で苦しんでいる人を一人でも多く救いたいと考え、収益金をウクライナの子どもたち向けに寄付をしました。今後も、美化・奉仕活動をおとして、地球環境を守りつつ、困っている人たちの為になる活動に取り組んでいきたいです。



〈資源回収〉

学級での助け合い活動 豊田市立松平中学校 2年 柴田 小友紀

学級で、仲間のことを意識して見守り、さりげなくサポートする活動に取り組みました。サポートする相手はくじで、ランダムに決定します。普段から班で交流することも多いのですが、授業での話し合いや係活動だけの交流でした。活動を通して、普段あまり話さない仲間に対しても、気遣う気持ちを持ち、どうしたら助かったり、喜んだりしてもらえるかを考え、よく周りを見て行動するようになりました。



〈仲間をさりげなくサポートする姿〉

文化祭で献血を続けています 名古屋高等学校 2年 石松 明真

毎年9月の文化祭にて、校内で献血を行っています。高校生(特に3年生)、教員、保護者の方々が協力してくれて、毎年沢山の血液が集まります。高校生の時から献血の大切さを知ってもらい、長く献血に協力してもらいたいと願っています。献血は健康な人が誰でもできるボランティアです。自分の血液が病気で苦しむ人を助けることになることを覚えて、これからも献血を続けたいです。



〈文化祭当日、たくさんの高校生が献血に協力してくれました。〉

あいち青少年赤十字

No.137 令和5年2月発行

人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.

一緒に考えよう ~今わたしたちができることを~

感謝を届けるありがとうの木 安城市立安城南部小学校 6年 橋口 冬桜子

友達や他の人からしてもらってうれしかったことや、日頃の感謝の気持ちなどを、イチヨウの葉に書いて貼っていく「ありがとうの木」の活動を全校で行いました。「～さん、一緒に遊んでくれて、ありがとう。」「班長さん、いつも交通安全に気を付けてくれてありがとう。」などの言葉が日を追うごとに増えていき、見ていてとても温かい気持ちになりました。これからも感謝の気持ちがあふれる学校を目指し活動していきます。



〈ありがとうの木〉

みんなで力を合わせて 名古屋市立千年小学校 6年 廣村 ありす

募金の取り組みは、毎年行っています。今年は、全校のみんなに募金が何のためにどのように行われているか、より詳しく知ってほしいと考え、PR動画を作成し、見てもらいました。低学年の子も、「よく分かったよ」「進んで募金しよう」と言ってくれました。よかったです。これからも、社会の役に立つことに挑戦していきたいです。



〈動画を見ている低学年の子〉

支部通信

気づき・考え・実行する
青少年赤十字



〈日赤中央病院前 (明治村)〉

青少年赤十字創設 100 周年「スタディー・ツアー」－未来のあなたへ、やさしさを。－



青少年赤十字 (JRC) は、2022 年に 100 周年をむかえました。この区切りの年、愛知県と三重県の小学生 9 人が赤十字とつながりのある場所を見学する「スタディー・ツアー」に参加しました。

これまでの 100 年をふりかえり、これからの 100 年に目を向ける機会になった「スタディー・ツアー」の様子を写真で紹介していきます。

【日程】○11月19日
・日赤愛知県支部 → 奥殿陣屋 → 日赤血液センター
○11月26日
・日赤中央病院 (明治村) → 日赤愛知災害管理センター棟



〈救護物資備蓄倉庫 (日赤愛知県支部)〉



〈キッチンカー (日赤愛知県支部)〉



〈日赤血液センター〉



〈日赤中央病院 処置室〉



〈日赤中央病院 廊下〉



〈日赤愛知災害管理センター棟〉